

## (15) NIE 研究会

会 長 山崎 利彦 (下田中)  
副会長 東 卓志 (八東中)  
事務局 井上 忠和 (西土佐中)

### 1. 研究主題 「新聞を活用した言語活動の充実」

### 2. 研究経過

実施年月日	研究のあらまし	会場
4 月初旬～ 6 月 24 日 (水)	四万十市教育研究会組織総会 ・役員選出 ・研究主題設定 ・年間計画	
8 月 19 日 (水)	四万十市教育研究会 夏季研修会 第 1 回学習会 講話・演習「NIE 活用の基礎」 講師：高知新聞社読もっか NIE 編集部 高本 浩史 様	四万十市立 下田中学校 PC 室
9 月～	NIE 実践資料回覧 実践資料提供 三原村立三原中学校 中野教頭	

### 3. 今年度の取り組み

#### ○第 1 回学習会

- ・メンバーの顔触れが昨年度と大幅に変わり、中学校所属の教員ばかりとなったことから NIE 活動に関する基礎知識とその応用・可能性及び高知新聞中学生用 PERATTO に関する活用法など講師より教わった。

～研修後の参加者アンケートより～

- ・今年度も高知新聞社記者の高本さんから NIE についての取り組みを学ぶことができた。その中でも、新聞を使用して SDGs の 17 の目標を関連づけて考える取り組みは、普段の活動においても十分に組み入れる内容であり、とても参考となった。また、各中学校に高知新聞社より配布されている「PERATTO」についての説明があった。紙面内の小社会 for ティーンズでは、調べてほしい語句に線が引かれており、読みの難しい語句には辞書等で引きやすくするためにふり仮名の 1 文字が書かれていることがわかった。このように活用の方法についての工夫や作成に関する編集部の考えがわかり、とても有意義な研修となった。
- ・高知新聞中学生用 PERATTO の作成の意図を、新聞社の方から直接聞くことで細部にわたって工夫や配慮がされていることを知ることができたのが良かったです。それを知ることによって活用する方法も大きく変わってくるなと思いました。活用方法が知れて、各教科やさまざまな場面で活用をしていきたいとおもいました。
- ・新聞づくりや新聞活用に関しては、総合的な学習との関わりで知ることができてよかったと思うことがたくさんありました。特に SDGs に関して今後どの教科でも必要な視点になってくると思うので、学習指導要領とのかかわりも含めて、研修できたことがこれからの授業づくりにつながるなと思いました。

## ○NIE 実践資料回覧

第2回学習会を開く予定であったがコロナ禍により、中止せざるをえなくなった。しかしメンバーのNIE教育への熱い思いに対し、長年NIE教育に関わり実践を続けてこられた三原中学校 中野教頭より、実践の足跡までわかる詳細な資料を提供していただくことができた。所属メンバー一人一人の実践における課題克服のヒントや、今後の展望をもつ手掛かりを得ることができ、今年できる活動を行うことができた。



## 4. 成果と課題

〈成果〉

- ・高知新聞中学生用 PERATTO の活用を中心に中学校生徒のために即実践を行える学習会ができた。また、参加者同士の情報交換も活発に行えたことで、自校の取組に還元することができた。
- ・実践例をより多く知りたいとの要望に応え、資料提供を所属メンバー以外の方に協力していただくことができた。そのことにより情報交換の幅が広がった。

〈課題〉

- ・各学校での様々な取り組みを共有できる機会がもっとあれば、より課題に迫る協議なども可能になるため、各校の取り組み状況を記録しておくことが望まれる。